

千年の森便り No.235

2023.5.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月21日(日) 天候 晴れのち曇り

午前9時過ぎに集合場所の駐車場に着いた時は、青空に初夏の強い日差しが眩しく、熱中症が心配なくらいでしたが、その後は曇り空となりハイキングにはちょうど良いお天気になりました。午前中は坂本さんの案内で清和県民の森を約4キロメートルのハイキング、午後は短い時間でしたが豊英島の散策と、予定どおりに恒例の公開行事を行うことができました。もちろん、ハイキングの案内に書いたとおり、ヤマビルにも出会うことができました。ご参加いただいたみなさん、サポートの会員のみなさん、お疲れさまでした。



参加者は、秋元、鶴沢、大原、坂本、清水、竹下、福島、村野、森田の会員9名、一般参加13名、合わせて22名でした。

○林道ハイキングの案内

一般公開行事のハイキングの案内をしました。

鮮やかな黄色のジャケツイバラ、クレマチスの仲間のハンショウヅル、金管楽器の形をしたオオバウマノズクサはこの行事を盛り上げる3羽ガラスとあって期待していたのに、3種とも既に咲き終わっていて残念でした。外れがあれば当たりもありで、ヤマボウシとウツギの純白の花が至る所で見られました。昨年も参加された方は、こんなに沢山あるなんて全然気が付かなかったと驚いていました。

今年は春から季節の進みが早い上、カレンダーの曜日並びの関係で同じ第3日曜なのに昨年は15日、今年は21日の開催でしたから、その差もあった筈です。

一番の人気は黄色に熟れたモミジイチゴだったかもしれません。味見の人が木の下に順番待ちをして暫く足止め状態でした。しみ出し水が滴る急斜面の岩肌に生えるモウセンゴケも目を引きました。成東の食虫植物園などで湿地の平面に生えたものを見慣れた人は垂直の岩場の姿に目を疑うようです。

北総方面からの参加された方が多かったので、同じ県内でも南部の丘陵地との植生の違いを見てもらいたいと思いましたが、拙い説明でどこまで伝わったでしょうか。(坂本)



モミジイチゴ(林)



モウセンゴケ(竹下)



ヤマボウシ(坂本)



ウツギ(竹下)



解説の様子(福島)

○豊英島の散策

県民の森事務所で昼食をとったあと、午後は豊英島に移動し会の活動地をご案内しました。島へ渡る吊り橋の手前で、まずはヤマビルの登場！島へ渡って最初の案内は、ヤマビル対策です。ズボンの裾を靴下の中に入れ、塩水スプレーをして散策へ。ルートは千年広場からホコラ山に向かい、次は広場を通り抜けてホテイ岬に向かい、再び広場に戻ってくるというコースでご案内しました。

ナラ枯れによる被害と被害木を伐採している状況、ニホンジカによる食害と植生保護柵による生物多様性保全の取り組みなどの会の活動状況をご覧いただいたほか、実をつけて大きく育っているヒガンmamシグサ、真っ赤な実をつけたコショウノキ、シカが食べないために増えているアセビやシロダモ、昨年営巣していたトビの巣、ホテイチクのタケノコやツチアケビの芽、トサノクロムヨウラン、イチヤクソウなどの豊英島の自然を観察していただきました。ご参加いただいたみなさんの印象に残ったものは何でしょうか？（福島）



吊り橋を渡り島へ



千年広場（秋元）



ナラ枯れの状況（坂本）



コショウノキ（坂本）



ヒガンmamシグサ（谷）

たくさんの花や生き物に出会い今回も大満足の観察会

2回目のハイキング参加でした。説明して下さった福島様、坂本様をはじめ、千年の森の皆さま、大変お世話になりました。お目当てのジャケツイバラは、残念ながら花が終わっていて見られませんでした。しかし、それを補って余りあるたくさんの花や生き物に出会い今回も大満足の観察会でした。

車で現地へ向かう道すがら、白い花がこれでもかと咲いていました。ウツギ(ウノハナ)です。ハイキングをしている時も、いたる所に白い花が。ウツギ、ヤマボウシ、そしてスイカズラの花も。この季節は、白い花が目立ちますね。理由があるのでしょうか？

私の住む下総では見られないフサザクラ、花を見てみたい。ニシキウツギとハコネウツギの違いに納得。彼岸mamシグサの大きさにビックリ。前回の観察会でも教えていただいたアザミを触ると出る花粉。どうもアザミに好かれていないのか？私が触っても出ません。家の方でチャレンジしてみます。モウセンゴケの生える崖では、サワガニや可愛いコケリンドウも出迎えてくれました。そうそう、ジャケツイバラの花には出会えませんでした。千年の森の方が採取して見せて下さったジャケツイバラのトゲ、なるほど茨ですね。もったいないので、持ち帰り挿し木にしてみました。事後報告。



スイカズラ（竹下）



フサザクラ（秋元）



ニシキウツギ（竹下）



ノアザミ（竹下）



サワガニ（谷）



コケリンドウ（秋元）



ジャケツイバラ（秋元）



ツチアケビ（秋元）



ヤブムラサキ（坂本）



ホテイチク（坂本）

豊英島は、まさに生物多様性の宝庫でした。菌類に寄生して生えているツチアケビは、この世のものとは思えない姿でした。花や実もユニークで(写真で見ると)、これを知っただけでも来た甲斐があります。ヤブムラサキ

はよく見るときれいな花で、何とか花のアップの写真を撮りたかったのですが、私の腕では無理でした。ホテイチクのタケノコが、今年は防護柵の外でもニョキニョキ生えているのは不思議ですね。シカは食べないの？清和県民の森と豊英島が、来年はどんな姿を見せてくれるのか、楽しみにしています。(谷 優)

白い花のリレーを楽しむことができました

たまたま開催の情報を得て参加した者です。初夏らしい白い花のリレーを楽しむことができました。ミズキはすでに終わり、ウツギが花盛り。ほかにヤマボウシ、ガマズミ。曇天とはいえ白色が鮮やかでした。

溪流に差し掛かるとフサザクラやタマアジサイが目につきました。植生の変化が興味深いです。春に咲いた花が早くも実やタネをつけています。モミジイチゴは試食を促すように実っていました。エンコウカエデとイロハモミジの実の違いの説明があり、理解が進みました。

豊英島では野鳥の鳴き声が響き渡っていました。コジュケイ、キビタキ、カケス。残念ながら姿は見えません。ラン科植物のツチアケビは名前を聞くのも初めて。食害対策の金網で嚴重に保護され、野生動物との攻防の厳しさを感じました。

サルトリイバラの青い実を確認できました。生け花の材料としてはサンキライ。秋冬に赤くなった実は特に有名なようです。自然の中の姿を見てみたいと思っていたので、ラッキーでした。

優れた解説者に同伴してこそ楽しめる自然があるように思います。案内していただいた坂本文雄氏と福島成樹氏に感謝します。(林 浩)



ミズキ (林)



フサザクラ (林)



タマアジサイ (林)



モミジ比較 (林)



サルトリイバラ (林)

森林浴、ウォーキング目的も兼ねてハイキングに参加

昨日は暑くもなく、寒くもなく、ちょうど良い天候のもと、私は実は森林浴、ウォーキング目的も兼ねてハイキングに参加させていただきました。初めての参加にも関わらず、会員の皆様があたたかく受け入れて下さり、気持ちよく、楽しく4キロを歩くことができました。あっという間でした。普段名前も知らないような植物たちに出会えたこともとても大きな収穫でした。例えば、コケリンドウ…私もコケリンドウのように、小さくても健気に精一杯咲いて生きていきたいものだと思います。

今は猫の額ほどの庭の手入れだけでもままならない状況ですので、貴会の活動への継続的な参加は難しいかなと思っておりますが、素晴らしい活動とも感じましたので、貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。(池田美由紀)



コケリンドウ (福島)

清和県民の森と豊英島を楽しむハイキングに参加して

本日は、とある会員の紹介により、かねてより噂に聞いていた清和県民の森と豊英島のハイキングに参加しました。日頃は、ヒルの生息しない森林での活動をしているため、出来ればお会いしたくないと思いつつも、(ほんの少しだけ)怖いもの見たさもあり、ドキドキしながらの参加でした。

午前中に散策した、清和県民の森のコースでは、白と青の珍しいサワガニが可愛かったです。また、道中は姿こそ見えなかったものの、様々な鳥たちの美しい囀りに癒やされました。

午後からの豊英島では、普段、見ることのできないランの仲間を何種類も観察することができ、また、トビの巣を間近で観られ思ったよりも大きく立派で感動しました。ハイキング中に見かけた、絨毯のように生い茂る苔や涼しげな水辺の景色、自然に削られてできた神秘的な地形にすっかり魅了されてしまいました。

スタッフの皆様が入念に準備をしてくださったこともあり、素晴らしい解説を聴きながら安心して観察することができ、大変充実したハイキングでした。あまりに時間が過ぎるのがあつという間で、少し物足りないくらいでした。また、機会がありましたら、ぜひお邪魔したいと思います。この度はお世話になり、ありがとうございました！（千葉市 NPO ちば森づくりの会 会員 T ほか 3 名）



サワガニ（谷）



植物観察（秋元）



アワブキ（竹下）



リュウキュウマメガキ(秋元)



ホオノキ（竹下）

○センサーカメラの動物たち

吊橋着岸点付近ではハクビシンとタヌキの記録のみです。ニホンジカが豊英島に上陸する様子を記録したくて、ホテイ岬先端付近のカメラを岸辺の近くに移動したためでしょうかニホンジカの記録がなくなりました。変わりに鳥類（エナガ、ヤマガラ）が記録されるようになりました。

ホテイ岬への分岐点付近のカメラにはニホンジカの記録があります。ニホンジカが島に上陸していることは間違いないようです。（秋元）

設置期間：2月19日から3月19日まで

※日数は確認した日数です。同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1：吊橋着岸点付近

ハクビシン 2日 夜間 タヌキ 1日 夜間

CAM2：ホテイ岬への分岐点付近

ニホンジカ 3日 昼間・夜間 ハクビシン 3日 夜間 タヌキ 1日 夜間

CAM3：ホテイ岬先端付近

エナガ 1日 昼間 ヤマガラ 2日 昼間



ニホンジカ



ハクビシン



タヌキ



エナガ



ヤマガラ

お知らせ

○次回活動日は6月18（日）です

ニホンジカの生息状況調査、水辺の環境整備、駐車場周辺の草刈り、刈り払い機操作体験、天気とメンバーによっては危険木伐採も予定しています。作業が多くなりますので積極的にご参加をお願いします。

梅雨の時期ですので、熱中症対策、ヤマビルやダニ対策を忘れずに。また、島に入る際は危険防止のためにヘルメットの着用をお願いします。